

2022年度環境マネジメントプログラム（上期達成評価）

目標・指標	手段・施策	達成状況（2022年4月～2022年9月）	達成評価
1 EMSの整備			
1. NYKグループの認証サイト内のガバナンス維持・拡大	1. 環境内部監査実施、EMSマニュアルの整備	1. 認証更新及び拡大に向けた内部監査計画を作成	○
2. マネジメントによるレビュー	2. 安全・環境対策推進委員会の開催	2. 7月20日に開催	
3. 環境関連リスク及び機会の決定	3. 中期経営計画準備委員会、ESG経営推進委員会、リスク管理委員会による決定	3. 6月16日のESG経営推進委員会で気候変動リスク及び機会を決定	
4. グループ環境経営の推進	4. グループ環境経営連絡会の開催	4. 11月22日に開催	
2 法規性及び自主ルールの順守			
1. 環境に関する船舶の条約・法律・規制の把握及び順守	1. チェックリストによる順守状況の把握	1. 下期に実施予定	△
2. 環境に関するオフィスの法律・規制の把握及び順守	2. チェックリストによる順守状況の把握	2. 下期に実施予定	
3. 環境にやさしい解撤の実施	3. NGOを通じた情報開示 3. 解撤現場への監督派遣	3. 新規の解撤需要がなく新たな情報開示なし	
4. 海運業界を通じた国際ルール作りへの貢献	4. 国連（国際海事機関）の委員会への参加	4. 委員会参加に向け国内の委員会に11回参加	
3 安全運航の徹底			
1. 本船及び管理会社の監査	1. NAV9000による監査	1. 船舶62隻、船舶管理会社2社の監査を実施	○
2. 重大事故ゼロ件、本船の平均遅延時間10時間/隻・年	2. 安全・環境対策推進委員会による重大事故・遅延時間のモニターと安全対策の決定・推進	2. 重大事故、平均遅延時間のモニターを継続中	
3. 荒天回避	3. ウェザールーティングサービスを活用した陸勤船員による荒天回避支援	3. 天候や配船に応じて適切に活用	
4. 安全面・環境面からの本船性能確保	4. 安全面・環境面からの本船仕様・設計図書の承認及び新造船の建造監督	4. 全発注船の仕様承認・図面承認、及び建造監督を行った	
4 省エネ・省資源源・GHGや有害物質の排出防止			
1. 国際海運業における2050年までのGHG排出ネットゼロ化	1. 環境負荷データの集計と、第三者認証取得による進捗確認	1. 連結GHG排出量の第三者認証を取得・公表	○
2. 当社グループ全体のGHG排出量の削減	2. 国際的な官民イニシアティブとの前向きな活動	2. 主要な活動を4件実施	
3. 船舶やオフィスからの排出削減	3. 船舶省エネに関する営業・運航各々による部門間の情報共有や、オフィス省エネに関する各種委員会の運営	3. 船舶省エネ関連の情報共有 5回実施 オフィス省エネ委員会 6回実施	
4. ESG関連資金の調達	4. グリーンファイナンスの組成	4. 組成実績なし	
5 環境技術の採用			
1. ブリッジソリューション船の座礁資産化防止	1. 各船種のコンセプト設計に基づく建造の検討	1. アンモニアレディ船の検討継続	○
	2. Maersk Mc-Kinney Moller研究所への参画によるゼロエミ船・燃料の動向研究	2. 出向者による参画を継続	
6 教育・環境意識の向上			
1. 船舶乗組員の環境保全に関する力量確保	1. 環境関係法規制に関する研修実施	1. 下期に実施予定	△
2. 陸上勤務者への環境教育	2. 環境e-ラーニング、環境キャンペーンの実施	2. 環境キャンペーンを実施 11月からe-Learningを実施中	
3. ISO14001:2015規格の力量教育	3. 社内環境研修の実施	3. 6月に実施	
7 社会貢献・対外広報			
1. 海洋プラスチック問題への挑戦	1. 外洋でのマイクロプラスチックサンプリングによる実態解明への貢献	1. 運航船3隻によりサンプリング中	○
2. 海洋生物多様性への調査協力	2. 海水中のDNA採取による学術界への貢献	2. 3回実施	
3. TCFD提言に基づく情報開示	3. TCFD提言に基づく情報開示	3. 6月に開示	
4. 社外からの要請による情報開示	4. 環境関連アンケート対応による情報開示	4. 14件のアンケートに対応	